

## 会 議 要 旨 (全文録)

会議の名称	印西地区環境整備事業組合 印西地区ごみ処理基本計画検討委員会 第7回会議
開催日時	令和4年12月11日(日) 午後1時00分開会
開催場所	印西地区環境整備事業組合 3階 大会議室
議長(委員長) 氏名	大迫 政浩(国立研究開発法人 国立環境研究所 資源循環領域 領域長)
出席者(委員) 氏名(人数) 敬略称、順不同	大迫 政浩(国立研究開発法人 国立環境研究所 資源循環領域 領域長) 中山 育美(公益財団法人 廃棄物・3R 研究財団 企画部 上席研究員) 村上 重徳(公募による選出) 鹿目 修(公募による選出) 梶山 正信(公募による選出) 福島 壽彦(公募による選出) 池田 久美子(公募による選出) 小熊 清(印西市廃棄物減量等推進審議会委員) 山谷 修作(白井市廃棄物減量等推進審議会委員 副会長) 福本 朋子(栄町廃棄物減量等推進員) 角鹿 智章(印西市立高花小学校 校長) 坂野 仁(白井市立白井第一小学校 校長) 船越 勝行(日本食研ホールディングス(株)千葉総務部 次長) 計13名
欠席者(委員) 氏名(人数)	寺内 勝也(栄町立布鎌小学校 校長) 平川 昌宏(進光園緑化(株) 代表取締役) 松山 由香(イオンリテール(株)イオン千葉ニュータウン店 人事総務課長) 計3名
事務局	印西地区環境整備事業組合(印西クリーンセンター) 勝田 博之(工場長)、渡辺 祐(主査補)、長沼 徳雄(主査)、海老原 雅美(副主幹)、大野 喜弘(副主幹)
市・町	組合関係市町 藤巻 孝(印西市 課長)、吉川 弘一(白井市 主幹)、 塩崎 一郎(栄町 課長)
コンサルタント	コンサルタント 応用地質株式会社(3名)

発言者	内容
<b>次第1 開会</b>	
司会	定刻となりましたので、これより第7回検討委員会を開催させていただきたいと思います。大迫委員長より挨拶をお願いいたします。
<b>次第2 委員長あいさつ</b>	
(大迫委員長あいさつ)	
<b>次第3 議題</b>	
委員長	<p>それでは、早速議題に入りたいと思いますが、その前に本日の議事録署名のお願いをさせていただきたいと思います。船越委員と中山委員にお願いできればと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>では議題に入ります。議題(1) 印西地区ごみ処理基本計画及び印西地区災害廃棄物処理計画について、事務局からご説明よろしくお願いいたします。</p>
事務局	(1) 印西地区ごみ処理基本計画及び印西地区災害廃棄物処理計画 説明
委員長	<p>只今のご説明の中で私が若干補足しますと、一番最初にご説明いただいた粗大ごみで、前回は若干増えていたため、減量化を目指そうということで、数字を見直したわけです。では、どのような施策で担保するのかというところは、元々記載がありまして、104頁(2) リユース・リサイクルの推進の中で、粗大ごみで出す前に「リサイクルショップ等を利用した不用品の再利用の推進」や、これは必ずしも減量化というわけではないが、粗大ごみが搬入された後、できるだけリペアして再利用していくという「粗大ごみ等の再利用」というところで書いてありますので、こういった粗大ごみに関しても適切に対応していくことの施策は元々盛り込んであったので、減量化という数値も見直すべきだということで、ご意見を反映させていただいたところでございます。以上補足です。</p> <p>前回の皆様のご意見で重要なところを反映させていただいて、この言葉の意味を実行の際にはちゃんと噛みしめていただいて、組合・構成市町も実行されていくということで理解しております。</p> <p>それではご質問、ご意見等ありますでしょうか。</p>
鹿目委員	<p>2つほどあります。1つはコメントの追加とか、表の修正ですけれども、まず本編107頁、パブコメにもでていましたが、(8) 脱炭素社会で、「温室効果ガス排出量を令和10年度までに約60%削減」とあり、その内訳の表として、資料編の58頁「温室効果ガス排出量の予測値」が書いてあるのですが、パブコメにも「整合とれてますか」と聞いていますので、国の基準値との比較がわかるものを入れたほうが良いのではないかと思います。</p> <p>つまりは、国の目標2050年までにはカーボンニュートラルにする、そしてそのために2030年度までに2013年度比46%減、54%オフということですよ。この数字を入れて、2030年度までにクリアしていますというストーリーになるようなことをしたほうが良いのではないかと思います。</p> <p>具体的には、前の基本計画を見たのですが、2013年度にはCO<sub>2</sub>の量が2,581</p>

	<p>万という数字なので、それとの比較で 2030 年度にはそれをクリアしている、という形で表を作って、文言としては資料編 57 頁に、30 年度までには国の基準をクリアしているというような形で持って行ったほうが良いのではないかと思います。</p> <p>もう 1 つは粗大ごみで、増えていたのが今回減ったという形になっているが、前の表が残っていたみたいなので、資料編 39 をご覧になっていただきたい。「表 2.2-1 重点項目での減量化・資源化量」の合計欄で、「令和 3 年度実績 515.3g – 減量化量 67.3g」というのは前のものなので、今回 0.4 なので、67.7 になるわけですね。このエクセル表の合計欄の行を一段下げて、これを備考欄として今の文言を修正の上入れる、合計はあくまでも資源化量と減量化量は別のセルにして、自動計算させてやったほうが間違いはないのかなと思います。そういう修正はいかがでしょうか。</p>
委員長	<p>2 点目は細かい点までありがとうございます。事務局のほうから後程レスポンスいただければと思います。</p> <p>1 点目は補足説明的に加えてはどうかということなので、こちらの方で最後、適切な説明等を入れたいと思う。一方で、国の目標というのは、国全体で達成するということになるので、必ずしもごみ処理だけで数値を達成しなければならないということではないという理解をしています。13 年度比ということも計算しようかという話はしていたのですが、そのときの数値や組成等、かなりばらつきのある数値を扱っているものですから、今回は令和 3 年度で揃えるということになりました。2013 年度になるとごみが今よりも少ない、令和 3 年度はごみが多い時だったので、そこからプラスチック削減等やっていくと、60%削減効果を期待して頑張っていけないといけないのですが、2013 年度をベースにすると若干 60%より削減効果が落ちるといような結果になる。いずれにしても、国の数字に遜色のないレベルで設定されているという理解をしている。この数字がどのような意味を持っているのかわかるような説明を書き込めればと思う。</p> <p>2 点目はいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>2 点目について、御指摘の通り修正して参りたいと思います。ありがとうございます。</p>
鹿目委員	<p>下の事業系ごみも同じようにやっていただければと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今日は前回議論いただいて、ご意見いただいて、適切に反映されているというように理解しておりますが、確認いただいて、細かい点等、文言の細かい修正は事務局で再度チェックして直していくことを前提に、最終的なご了解をいただけるよう進めるという趣旨でございます。</p> <p>他にいかがでしょうか。感想でもいいです。</p>
梶山委員	<p>最後にありました PDCA で、しっかりした「P」が作られているということで、これを基にどのように向かっていくかということかと思っておりますので、その</p>

	<p>点について私から情報提供とお願いということで1点ずつ、申し上げさせていたいただきたいと思います。</p> <p>まず1点は、皆様ご存じの通り、Googleが印西市に来られるというのは報道されていますのでお分かりかと思いますがけれども、私も大学院の勉強会でGoogleの人がおりますので、この間の勉強会でGoogleの方が理念とか状況を説明されましたけれども、情報提供ですけれども、Googleは2030年度までにScope3を達成すると言われていました。つまり、企業ではカーボンニュートラルを達成しますと明記されていまして、そういった形が入ってこられる。それくらい進んだ企業が来られるということは、印西市、印西地区にとってプラスだと思います。ぜひそういうところと協力を仰ぎながらカーボンニュートラルに向かって素晴らしい都市をつくっていくことを願いたいと思います。</p> <p>もう1点は、前回も申し上げたのですが、行動経済学のナッジを使って、しっかり取り組んでいただきたい。先程64%削減と計算値が出ているわけですから、これを達成するという強い意志を持って、数字に物語があるということですので、進んでいただきたいのですが、そのときにやはりプラスチックは64%減らせば良いという話ではないと思います。全てプラスチックは廃棄物から除きましょうというのが理念だと思いますので、その中の64%達成できるという話だと思いますので、私も取り組んでおりますし、食ロスについても80%以上は水ですから、しっかり水切りし、ディスプレイなり、コンポストなり、そういうものを活用しながら、そういったものについてはゼロにしていくという理念をしっかりと住民の方に伝えていただいて、環境行政を進めていただければというお願いをしまして、私からのお礼の挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>私も認識が十分でなかったのですが、GoogleでScope3という言葉がでていたわけですが、自分達が扱っている原料であるとか、製品になって流通してという、自分達が直接出すもの以外に、間接的にもCO<sub>2</sub>を出す場面があるので、サプライチェーン全体としてちゃんと見ていかなければいけないという考え方ですね。</p> <p>温室効果ガス64%、プラスチック削減によって見込めるわけですが、ご理解頂きたいのは、自治体が出す排出量ということで、計算式がある中で求められるわけなんですけれども、プラスチックが除かれたら、その時点で自治体が出す量からは除くことが出来る。ただ、実際に今の技術的な実態はプラスチックを集めて選別施設とかに事業者へ渡してやっていくと、その半分くらいはマテリアルリサイクルには回らずに、どうしても熱回収の方に回ってしまわざるを得ない程度の品質です。選別施設で質を高めれば高めるほど残渣が出てきて、それは熱回収せざるを得ないので、熱回収の時はCO<sub>2</sub>が出てしまっていて、それは事業者が負うということになっています。ここで64%削減できたからとい</p>

	<p>って、純粹になくなったわけではなく、他のところで若干出ている部分があるということも踏まえて、出来るだけ品質の良いものを分別して出すということで、歩留まりを高めていくということが大事です。Scope3 という、今おっしゃった考え方を考えると、64%を目的化するのではなく、最後に皆さんちゃんと理解した上でどのように取り組んでいくべきかということまで考えなければいけない。そんな意味も今の御発言から、併せて申し上げておきたいと思います。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p> <p>よろしいですか。ご協力いただいて、大変野心的な基本計画が、できたと思います。多少の文言であるとか、先程のご意見のところ説明の追記等はこちらの方で最後調整させていただいて、基本計画を御承認いただいたというふうに理解しましたが、それでよろしいでしょうか。</p> <p>ありがとうございます。行政の方にお任せする計画ではなくて、一人一人がごみ処理事業を担う構成員として市民の方、事業者の方も含めて達成しなければならないということなので、関わった我々も責任を負っていかなければならないということを最後申し上げておきたいと思います。</p> <p>ごみ処理基本計画の方はそういった形で一段落しまして、災害廃棄物処理計画は特に修正ないと思いますが、何かご説明ございますか。</p>
事務局	特に修正はありません。
委員長	<p>前回は修正について御指摘はなかったので、こういった形で改めて出来ていきますということでご覧いただいて、これでいざという時の災害の備えのためにこの計画が、計画通りに実行的に動くように、行政の方での連携体制や、市民の方々にも理解いただきながら、いざという時には出来るだけ分別排出をして、一次仮置場まで持っていくと。仮置場の方は構成市町で、前回もありましたけれども、個別に災害処理計画を策定済み、あるいは策定中ということで、その中では一次仮置場をどのように確保すべきかということも検討されているので、そういったところで市民も協力していくということになります。</p> <p>それでは災害廃棄物処理計画の方もこれで御承認いただいたということでよろしいでしょうか。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは次の議題ですが、答申（案）ということになります。答申（案）については、検討委員会として、管理者にお渡しするということになります。諮問をこちらの委員会にいただいたので、その答申ということになりますので、私の方から説明させていただきます。</p>
委員長	答申（案）について説明
小熊委員	<p>答申（案）の中ですが、3番目、本計画云々のところですが、基本計画のところにも、107頁のところ「環境教育及び啓発活動の推進」というので、しっかりした項目が入っているんですよ。</p> <p>今回の計画も年次計画で数値が決まっているわけですから、3項目目の内容</p>

	<p>について、出来れば追記をお願いしたいのですが。本計画に設定した目標の達成度、施策の進捗状況を公表し評価を行うと共に必要に応じて施策の見直しを行うことということで、PDCA をしっかり回していきましょうということになっていますので、基本計画 107 頁のところでは表の欄外のナッジの精神を汲み取っていただいて、進捗状況を公表しの際に、「定期的」という言葉を加筆していただきたいと思うのですが。これで皆さんに今こういう状況ですということ周知して、協力を求めるという形に出来ないでしょうか。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>そういう含意を持って書いているとは思いますが、それを明記してはどうかということですが、今日既に印刷されていますので、お渡しせざるを得ないのですが、後で事務局の方で「定期的に」といった言葉を入れることは可能ですか。</p>
事務局	<p>可能です。</p>
委員長	<p>ではそういった形で。ホームページにも答申を上げるんですね。そういったものを上げさせていただきます。ありがとうございます。</p> <p>よろしいでしょうか。次はその他になりますが、事務局からありますか。</p>
事務局	<p>印西地区ごみ処理基本計画及び印西地区災害廃棄物処理計画の策定に御尽力いただき誠にありがとうございます。</p> <p>本検討委員会の終了後ですが、管理者の板倉正直市長が到着次第、答申を行いたいと思いますのでよろしくお願いいたします。管理者は2時に到着予定となっておりますので、到着次第答申の授与式に移らせていただきたいと思っております。以上です。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>ではあと 10 分程あるので、一言ずつで良いのですが、終わったところで感想でもよろしいですか。</p>
中山委員	<p>皆様お疲れ様でした。こんなにも熱心に意見交換するものかと思ってびっくりしていましたが、おかげでとても素晴らしいものになったかと思えます。</p> <p>私も勉強になりました。ありがとうございました。</p>
村上委員	<p>これまでの活動を通して、今もおっしゃられた通り、熱量を感じる集まりとなりまして、なかなか私の方も意見を言えず残念ではありましたが、素晴らしい案の立案に携わった者として非常に誇らしく思います。1年間ありがとうございました。</p>
鹿目委員	<p>まず一言申し上げたいのは、今回事務局さんにお礼という形ですね。かなり細かい計算、数値の内訳を出してくださいという要求をしましたので、それについて、かなり分厚い資料編という形で出していただきましたので、大変な力仕事ではなかったかなとつくづく思います。本当にありがとうございました。</p>
梶山委員	<p>先程お礼を申し上げたので、またここでお礼をいうのもあれなので、基本的に私も元農水省の公務員でして、行政マンとして働きましたので、公務員の方にとってはかなり厳しい言い方をしたように思いますけれども、愛情だと思っ</p>

	<p>て聞いていただければと思います。私自身も大変勉強になりました。</p> <p>フードロスをなくすという理念で起業しましたが、どうしていかか考えながらやっていますけれども、皆様から貴重なナレッジやスキルを頂いたと思っていますので、今後はこういったスキルを活かして、私は白井市に住んでいますので、白井市の環境行政に微力ではありますが全力で貢献できることをやっていきたいと思っています。特に白井市さん今後ともよろしく願いいたします。ありがとうございました。</p>
福島委員	<p>最初の時も言ったので重複しますが、一応委員ということではありますが、ちょうどサラリーマン生活が終わったばかりでしたので、ご近所の民生委員の方にこんな仕事あるんだけどということ、うっかりといいますか、こちらに参加させていただいて、皆さんの見識であるとか、素晴らしいなという驚きばかりで今日を迎えています、そういった中で、非常に貴重な経験をさせていただいて、これを無駄にすることなく、まずは家に戻って、家庭や自治会のお友達と徐々に広げていって、全体的に地域の目標達成に向けて少しでも力になればいいなと思っています。ありがとうございました。</p>
池田委員	<p>皆様から色々な貴重なご意見を聞かせていただいて、私も日々勉強しなければいけないと痛感しております。ありがとうございました。</p>
小熊委員	<p>ありがとうございました。途中で色々な意見を出させてもらいまして、ほとんど反映していただいたと思います。非常に素晴らしいものが出来上がっていますので、私も出前講座等、色々な機会でこういうしっかりしたものが出来ているから、それを守っていくのが皆さんの責任なんですよということで、啓発活動を続けていきたいと思っています。どうもありがとうございました。</p>
船越委員	<p>5年前の会議にも参加させていただいて、今回2回目だったのですが、非常に事務局の方大変だったと思いますけれども、参加して勉強になりました。ありがとうございました。</p> <p>ごみ処理に関して知らないことも多くて、皆様のご意見を聞いて、身近なところから私もやっていければと思いますので、これからは組合の方、市町の方、皆さん頑張ってくださいと思います。ありがとうございました。</p>
坂野委員	<p>大変貴重な資料、貴重なご意見を聞かせていただいて、私自身非常に勉強になりました。私は白井市の住民ですが、この資料とか見ていくと、まだまだ住民の意識というのはちょっとなところもあって、私も含めて頑張らなければいけないなと思っています。</p> <p>子どもたちの教育に携わる立場として、子供達の意識を高めていかなければいけないなと思っていますが、今学校では子供達に学んだことをどう使うかということのポイントにしていますので、意識を高めて、更に行動に移せるように頑張りたいなと思っています。ありがとうございました。</p>
角鹿委員	<p>1年間お世話になりました。ありがとうございました。高花小学校から来ましたが、子供達がこの問題とまったく関係ないということではなくて、実は一番関係しているのかなというふうに思っています。</p>

	<p>バックキャストという言葉を聞く中で、かなり大きな目標から戻してくるという考え方ではなくて、教育現場はフォアキャストの考え方で地道に積み重ねていくわけですが、その地道な活動の中で子供達に出来ることはこうなんだということを説いていきたいと思います。ありがとうございます。</p>
福本委員	<p>ありがとうございました。私も2回目ということで、今回も参加させていただいて、1回目と2回目の間にコロナという大きな事があり、ごみが増えてしまったとか色々あったかと思うんですけども、今回出させていただくのは本当に素晴らしいものだと思っていて、会議の中で色々出た意見を事務局の方が努力してくださっている様子、後は次に向かって実際の現場で自分自身で出来ることを頑張っていこうというところ、学びたいなと思います。ありがとうございました。</p>
山谷委員	<p>良い委員会が出来て良かったなと思います。私は周辺のなことでもプラスが多かったかなと。委員長の脇にいまして、私も他の自治体いくつか会議の取り仕切りのようなものをやっていますけれども、委員長が非常に360度目配りをよくされていて、円滑に進行していただいたということ、非常に参考になりました。この席にいて盗み事をしていたと、実はそういうことがありました。</p> <p>それからもう一つ、やや周辺のことですがけれども、町田のバイオエネルギーセンターを見せていただいて、20年前のことですけども案内してくれた方、先生久しぶりにお目にかかりましたと言ってくださいます、そのことも非常に良かったかなと思いました。ありがとうございました。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>私も一言いいますと、現行計画を作る際に関わって、2回目新しい計画ということで、コロナの問題もありましたし、今は世界的には教科書に載るようなウクライナ情勢も含めて大きな出来事が起こり、国内的にも悲惨な事件もあつたりとか、いろいろ閉塞感のある中で、地域の中で次の世代の人達にも繋げていくような取組を、当事者意識を持ってやらなければいけないというような気持ちを皆さんと議論しながら持ったところです。</p> <p>印西地区は、私もいくつか関わっていますが、大変市民力が高くポテンシャルを持っておられると思っていて、検討委員会のレベルも非常に高いというふうに思っております。それに応えて、今回事務局側の方も構成市町も含め、今後の公務員の仕事に対する使命感も新たにしたいのではないかと思います。私も環境省とか、国に近いところでやっているわけですが、こういう地域の中での議論から感じ取ることを、国の方でも活かしていきたいなという思いもしながら、今日最後、良い物が出来上がって良かったなと思っております。</p> <p>いずれにしても、本当に皆さんご協力ありがとうございました。これからはこの印西地区のサポーターとして、時には厳しく、時には優しく、盛り上げていっていただければと思います。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それではこれで終了したいと思います。事務局にお返しいたします。</p>

#### 次第4 閉会

事務局

大迫委員長お疲れ様でございました。

検討委員会の皆様におかれましては、5月からのタイトな日程の中で御審議いただき、素晴らしい印西地区ごみ処理基本計画及び印西地区災害廃棄物処理計画を策定することが出来ました。事務局としましては、厚く御礼申し上げますと思います。今後は、検討委員会の中で、計画を作って満足することなく、市民の皆様方のご理解をいただき、ごみ減量化への行動につながる広報や説明を心掛けてほしいというご意見がございましたが、このご意見を真摯に受け止めて、関係市町と協力してごみの減量化の取組を進めて参りたいと考えております。

また、計画内に記載がありますが、適切な進行管理に努めると共に、今回計画策定に御尽力いただいた皆様にも評価の報告を定期的にさせていただきたいと考えております。

終わりになりますが、本検討委員会の運営に配慮が足りない点があり、反省しているところではございますが、印西地区のごみ削減に向け、今後も皆様のご協力をお願い申し上げまして事務局からの挨拶とさせていただきます。

なお、今後の予定といたしましては、誤字脱字の確認、修正、数値、様式等の細かいチェックを行った後、概要版を含め両計画とも3月に発表を予定しております。完成版の製本した計画につきましては、改めて皆様に配布させていただきたいと考えております。

皆様本当にありがとうございました。